七夕 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘處
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
磐城時報社
一部金弐錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

古河の勞働者が 待遇改善を要求

きのふ自治會總會 成行きを注視さる

好間村古河炭礦の勞働者から成る自治會では既報の如く六日午前十時から總會を開き協議の結果左の十ヶ條を會社に要求する事になつたが、萬一この待遇改善案が容れられない場合には爭議を起さうとする一部もあり成行きを注視されてゐる。

要求事項

一、退職手當制度
一、鶴燒貸の會社負擔
一、健康保險加入自由選擧の事
一、八時間制の實施
一、最低賃銀決定（戶主一圓八十錢、家族一圓二十錢）
一、人くりの配置
一、水道改善
一、入坑手當制定
一、諸稅會社負擔外一項

▲青訓補助額　石城郡内各町村に對し交附さるゝ昭和二年度青年訓練所補助金額如左。▲平一二六圓三九　▲植田六八、〇四▲勿來一二、七九▲江名六一、五五▲小名濱八二、七二▲湯本六一、二七　▲四倉五八、三一▲泉六九、七〇▲渡邊五二、〇一▲山田六二、八〇▲錦六三、九五▲上遠野六八、二七▲入遠野六一、六三▲川部四八、八〇▲田人組合六八、五六▲飯野五六、八二　▲夏井五六、五二▲高久五四、八一▲豊間五八、二七▲鹿島五二、七五▲玉川五三、五四　▲磐崎一二七、〇八▲内郷一〇一、九〇▲好間七六、六九▲赤井八七、〇七▲永井九〇、二〇　▲永戸九〇、二〇▲箕輪六三、三二　▲澤渡四三、二三▲三坂一〇九、七四神▲谷六六、一八　▲草野六二、八四▲大浦五六、一〇▲大野八五、四九▲平窪五六、〇五　▲川前▲下上小川五七、三三八一、二二

石城郷友會の移轉行悩む

町村長會員が妨害

石城郡出身の在郷軍人より成る在仙臺石城郷友會はもと〳〵郡出身入營者の宿舎や娯樂、集會場として設けられたものであるから歩兵第二十九聯隊が軍縮で若松市へ移つた以上當然若松市へ移すべきものとして時價約四萬圓の財産處分に迫られ過般來石城の町村長が右財産は縣有の名義となつてゐるので縣の諒解を受けた上財團法人とし無償拂下を受くべく協議し準備手續きを進めこの程委員を擧げ在仙郷友會長辻文喜氏に對し先づ第一に郷友會事務所を平町に移轉すべく交渉したところ會員中に町村長會が乘取らん計畫であると妨害運動をなすものあり辻氏ら迷つて同意を與へないので目下行悩み町村長會でも手古ずつてゐる。

石城地方は 麥の凶作か

石城地方の本年麥作概況について石城郡農會が調査する所によると目下の草丈は三寸五分で播種期以來降水量極めて少く肥料分解不良で大凶作となるに非らずやと悲觀してゐる向きもある作付反別は約三千町歩で前年に比し五分減である。

平局で浴槽を殖やす

從業員改善待遇

最近の我國一般通信事務は複雜繁忙になつて來たゝめ郵便物の取扱ひ其他に關しての事故も頻々と起る狀態なので之が刷新を圖らんが爲め遞信省では種々歐米諸國の實状や諸設備を參考として具体的な名案捻出に努めてゐたが、それには從業員の保健に留意することが最も肝要だと云ふことになつたので過般全國一、二等郵便局に浴場を設け從業員を入浴させることになり平郵便局でも實施中であるが、局舍不完全な爲め浴槽が一ヶ所で不便此の上もないので近々更に二槽を設け大いに待遇の改善に力むることゝなつた。

▲農事見習生募集　神谷農事試驗場では來る四月一日から入所せしむる見習生を募集中であるが希望者は同場に申出づべしと。

高野を襲つた老爺は 宿屋専門の賊

嚴重な取調べに對して 余罪を續々と自白

去る三日午前一時頃箕輪村大字高野温泉宿高萩コウ方客間に梯子をかけ止宿中の北海道函館豊川町平間忠雄所有の現金四十圓の外衣類入りのトランクを窃取して間もなく同村駐在の金田巡査に逮捕された當時住所不定無職前科七犯の怪賊宮城縣本吉郡志津川町生れ阿部辰右衛門（六〇）はその後平署小熊司法主任が嚴重取調べの結果余罪を續々と自白するに至つたが自白によれば、一月十三日午前一時頃内郷村旅館二階に忍び入り現金七十圓を窃取、同月二十四日午前一時頃には浪江町百足屋旅館客間から現金四百十圓、續いて三月一日午前一時頃富岡町龜屋旅館に入つて現金一圓を窃取した宿屋専門に荒し廻つてゐた大泥棒であつた。

差押や競賣は 平地方が第一位

福島地方裁判所管内各區裁判所に於ける昨年一ヶ年の民事々件の假差押へや强制執行された競賣事件は財界の不況に伴つて頗る多く前年に比して二割の激增を示してゐる、管内で最も多いのは平區裁判所で四百十一件、次は白河區で三百七十五件、福島區の三百七十四件、郡山は二百九十四件の順で一番少いのは相馬で假差押へが四十八件、競賣廿九件である、更に督促に至つてはこれ亦前年に比して三割も多く一番多いのは若松で三千五百件といふ激增で仙臺控訴院管内でも第三位と下らぬ程多かつたので所員は勿論執達吏役場も轉手古舞の忙しさで福島や白河より千件以上も多い狀態である、若松の次は白河の二千五百件、次は福島の二千四百件、平郡山は二千件内外といふ多忙さを極め全管内を合計すれば假差押へや競賣は一千八百三十件、督促が一萬三千六百四十三件の多數に上つてゐる。

鳩山 仁井田 兩博士 公廷で激論

けふ御家騷動公判

富岡町早川清久、木戸村早川信夫兩氏間の約八万圓の遺産爭ひの第三回公判は七日午前十時平支部に開廷されたが、原告代理仁井田益太郎博士、被告代理鳩山秀夫博士出廷列席し訴訟の適不適について兩博士間に激論あり正午閉廷したが傍聽者多數に上つた。

▲石城唎酒會　石城酒造組合第四回清酒唎酒會は來る八日より二日間平稅務署樓上に於て開催、九日審査、十日賞狀授與式を行ふが今回の審査員は從來の例を破つて隣縣より之を求め斯道に造詣深き水戸市久我谷鐵太郎氏の手により標準を遙高所に於て嚴重審査する筈で出品百五十点以上に達する見込みであると。

紀念日をトして 貯金思想宣傳

大谷久藏氏の企て

平町信用組合では組合長大谷久藏氏が毎年産業組合法が發布された紀念日三月六日をトして貯金思想皷吹と信用組合利用の宣傳をなしてゐたが、本年も昨六日の紀念日に左の如き宣傳歌を作つて一般に配布した、尚は平町信用組合は昨年創立十ヶ年の紀念式を行つた組合で現在加入者七百余名、出資金七萬三千余圓平地方金融界に重きを加えつつあるが、今回の宣傳は不況時に於いて金融に困難してゐる人を救濟せんとする意味も含まれてゐると、大谷氏の宣傳歌左の如し。

◎た召大島誰でも好くが貯金したさの染絣
◎這入りませうよ無盡をやめて貯金にや倒れもセリもない
◎九尺二間の大黑柱組合貯金は妻の腕
◎親は子のため子は親のため組合貯金は末のため
◎勤儉貯蓄で蒔いたる種は鳥も權兵衛もほぢりやせぬ
◎一つ世帶の組合なれば何の遠慮もいらぬはづ
◎た前山吹わしや無果花よ組合利用で實を結ぶ

カシキモノ
貸衣裳
平古鍛冶町一
茗荷屋貸衣裳店

双葉特信

▲川内豫算決定　双葉郡川内村にては此程豫算決定せるが二年度豫算は特別會計五萬千余圓、一般會計二萬五千余圓合計七萬六千余圓にして大正十五年度より山林施業案により縣稅戶數割賦課を廢止せるが二年度よりは更に地租割及營業割の賦課廢止を決定し山林收入を以てこれに充當する事に決定した

川内村に 禁猟區設定

双葉郡川内村に於て禁猟區を制定すべく目下計劃中なるが其面積は約三千町歩にて上下の二箇所千五百町歩を定め規約其他を作定し近々中に出願する筈なるが禁猟期間は二年の豫定で三年目に開禁する計劃である。

産婆看護婦生徒募集

一、入學資格　高等小學校卒業者若くは之ニ同等の學力あるもの
一、修業年限　兩科を通じて一ヶ年
一、申込期日　四月八日限り

詳細は規則書を進呈す

平町一丁目（電話三五七番）
石城産科婦看護婦學校
（寄宿自炊の便あり）

私立志賀裁縫傳習所生徒募集

一般和服裁縫教授…普通科、速成科、研究科
ミシン裁縫教授
作法折紙及ビ水引掛方教授…全數廿八種
手藝（盛繪手藝…クレープ手藝　レース編物…其他種々）
右何レモ短期ニテ習得セシム　詳細規則書進呈
◎申込期日　三月卅一日マデ
◎授業開始　四月七日ヨリ
◎申込所　福島縣平町字紺屋町一三

志賀運動着販賣部
電話六四七番

電話四六〇番は
美味で評判の
イワキ食堂
實習日毎月十五日（家庭的料理實習所）

投票用紙

「模擬平市會議員」

「平模擬市會」市會議員得票

六〇一票　吉田寅之輔氏

五九二票　齋藤英三郎氏
五四〇票　井上貞次郎氏
三一八票　白井一郎氏
三一〇票　高橋龜松氏
二八六票　綠川喜三郎氏
二八一票　三森虎雄氏
二四二票　山野邊東次郎氏
二四一票　馬目雅治氏
一八〇票　鈴木昌雄氏
一七〇票　渡邊源吉氏
一五六票　諸橋守次氏
一五六票　吉村安次郎氏
一四四票　眞木桓氏
一四〇票　瀧澤俊平氏
一三三票　酒井清氏
一三二票　熊謙次郎氏
一三〇票　柴田德二氏
一二三票　大森勇氏
一二〇票　須田甚太郎氏
一一二票　萩原義雄氏
一一二票　山崎德次郎氏
一〇七票　關內正一氏
八十九票　鈴木武雄氏
八十八票　馬目武之助氏
八十八票　保坂龜八郎氏
八十一票　高倉精一氏
六十八票　横山顯氏
六十二票　山田盤麿氏
六十二票　阿部政右衛門氏
六十二票　諸橋正次氏
六十票　櫻井清氏
六十票　山崎清三氏
六十票　三井文吉氏
四十六票　佐藤武之氏
四十六票　蓮沼龍輔氏
四十六票　木田藤次郎氏
四十五票　海老原章四郎氏
四十票　猪狩庄平氏
三十六票　多田井笑次郎氏
三十四票　中野康平氏
三十二票　諸橋元三郎氏
三十一票　草野順平氏
三十一票　鈴木邦三郎氏
二十八票　鷹崎正見氏
二十三票　杉本榮一氏
十八票　關內喜久次郎氏
十三票　山野邊大五郎氏
十二票　千葉彦治氏
十一票　坂本隆藏氏
十票　吉田喜代治氏
九票　田卷榮一氏
七票　市原守馬氏
五票　長瀨延太郎氏

私立藤田裁縫女學校生徒募集

本校は裁縫、家事及技藝等專ら齋家に須要なる科目を中心に更に高等普通教育を施し淑德を涵養し智能を啓發し以て地方有爲の女子を養成するを以て目的とす

一、募集人員左ノ如シ
1 普通科　百五十名　2 高等科　若干名
3 速成科　三十名　4 手藝科　若干名
5 高等女學部　五十名　6 高等女學部若干名
第二學年補欠

▼教員養成科　入學資格ハ本校高等科、速成科卒業者及本校高等女學部第三年在學者ナルヲ以テ同科希望者ハ先ツ普通科、速成科又ハ高女部何レカニ入學サレタシ

二、入學手續
各科（部）共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月十五日ヨリ三月三十一日迄ニ平町私立藤田裁縫女學校ニ提出スベシ

◎定員超過ノ際ハ在學證書提出ノ順ニ採用ス
◎詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ（返信料二錢封入）

私立　福島縣平町（電話三二八番）藤田裁縫女學校
福島縣湯本町　藤田裁縫女學校湯本分校

第廿一回産婆看護婦生徒募集

一募集人員　若干名
一入學資格　高等小學卒業程度若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者
一修業年限　兩科通ジテ一ヶ年
一申込期間　本年三月三十一日

平町南町（電話三〇七番）
平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ

カキは一の井

料理はカキ

生徒募集

募集人員
高等女學部　五十名
師範部　五十名
技藝部高等科　百名
同　速成科　五十名

入學資格
師範部並ニ技藝部、速成科ハ高等小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等女學部並ニ技藝部、高等科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等科卒業者ハ選考ノ上高等女學部二年ニ入學ヲ許ス

願書提出　三月三十一日限り

私立　平陽實科女學校

古來よりの靈藥　支那六神丸　定價一圓・二圓・五圓
眞正の六神丸として好評偉大
復方チアスターゼ錠
あらゆる胃散にて癒ざる人々に直ちに服用を勸む
大販賣店　山野邊藥局
平町五丁目角

金牌受領
印半天專門優秀品の証明
草野染工場
磐城平町
電話三四八番

鐵筋コンクリート

住宅、商店、事務所
設計監督請負
平町田町
丸山喜一郎
電話六二番